

第3回岡山市社会教育委員会議運営要項

日時：平成30年5月29日(火)

14:00～~~16:00~~

場所：ほっとプラザ大供5階
軽スポーツ室兼会議室

115分
傍聴3. 報道1.

1 開 会

2 議 題

(1) 平成30年度岡山市立公民館運営・事業方針について

(2) 岡山市立公民館基本方針の策定概要について

(3) 岡山市立図書館整備実施計画の見直しについて

(4) 地域の教育力の向上について

3 閉 会

平成30年度岡山市公民館運営・事業方針

公民館では、地域特性を活かした多様な学習機会を提供するとともに、地域の問題や生活課題を捉えた講座の企画・運営を通じて、住民自らが課題の達成に取り組めるよう支援するため、以下のとおり、運営・事業方針を定める。

1 公民館が果たすべき役割

岡山市の公民館は、社会教育法の目的を達成するため、ESDの視点で、身近な地域の課題からSDGs（持続可能な開発目標）とつながる世界的な課題までの幅広い分野を対象に地域住民の主体的な学びと実践の機会を提供し、持続可能な社会づくりにつながる人材を育成する。

2 重点目標

(1) 運営委員会の活性化と地域との連携強化

より多くの住民、各種団体の公民館活動への参画を促進するとともに、地域の様々な団体や住民がつながり、世代や分野を超えた交流による協働が推進される「地域のプラットフォーム」としての学びの場をつくる。

(2) 地域課題の把握と事業企画への活用

地域ワークショップの結果を踏まえた事業の立案を行う。市政の懸案であり地域共通の課題である7つの「重点分野」に沿って学習機会を提供し、他の分野や課題とつながるような事業に取り組む。

(3) 住民主体の活動の強化と、子ども、若者の利用拡大

市民主体の学びを促進するため、主催講座からクラブ講座への移行を促進する。子ども、若者の公民館事業への参加促進事業を実施する。

(4) 公民館活動の魅力発信

ホームページでの情報発信の強化。他課が行うイベント等での公民館事業PR

(5) 新たな体制による事業推進の確立

公民館振興室による各公民館の事業実施支援。担当部局と公民館の連携、地域課題解決に向けた職員間の連携、情報共有の強化。

（特）室お370-4

3 主催事業における重点分野

(1) 共生 — 共生のまちづくりの推進 —

外国人、障害者、性的マイノリティー、高齢者など、住民が互いに理解し合うための学びや交流の機会を提供し、共生のまちづくりを実現する。また、世代間の交流や文化の伝承を進める。

(2) 環境 — 環境に関する意識の向上と活動の促進 —

身近な自然から地球規模のエネルギー問題、気候変動、食糧・水問題まで多彩な学習の機会を提供し、地球環境を維持・発展させるような実践の機会を提供する。

(3) 健康 — 健康づくりへの支援 —

生活習慣病予防、心の健康、食事、飲酒・喫煙、介護予防など幅広い観点から健康をとらえ、健康学習の機会を提供する。また、あらゆる世代を対象に、将来を見据えた健康づくりへの意識付けや運動習慣の定着を図る。

(4) 男女共同参画 — 男女共同参画の推進 —

性別に関係なく、一人ひとりの人権が尊重され、互いの生き方を認め合うとともに、多様な考え

方が生かされる社会を実現する。

(5) 子育て —子育て・家庭教育と青少年健全育成の支援—

地域で子どもが育つための切れ目ない支援を進めるため、地域の中での「子ども観」の共有を図り、安心して子育てができる環境を整える。家庭教育にも目を向け、親同士の学びあいを促進するため、気軽な相談場所づくりや居場所づくりに努める。また、子どもが主体となるような様々な体験活動の場を設け、異年齢の子ども同士の交流を図る。

(6) 長寿社会 —高齢者の仲間づくりと学習の機会の提供—

高齢者一人ひとりの生き方や多様性を尊重し、高齢者自らが自主的・主体的に学びや活動に取り組んでいけるよう支援する。高齢者の生きがいや仲間づくりを進める一方、経験豊富な地域人材として、地域活動や学校支援への参加を支援する。

(7) 防災・減災 —安全で安心なまちづくりの推進—

地域ぐるみで防災・減災の取り組みを進め自助、共助のまちづくりを進める。また、その過程において地域との連携を深め、関係部局と協力して絆づくりと、地域づくりの担い手の発掘・育成に努める。

岡山市立公民館基本方針の策定概要について

1 背景と目的

現在、世界に例がないほどのスピードで高齢化が進んでいるわが国では、人生100年時代を豊かに生きるための生涯にわたる学習や能力向上など、生涯学習の重要性はますます高まり、その実現が求められている。

岡山市においても、高齢化、核家族化、ひとり親世帯の増加、地域のつながりの希薄化など、家族や地域社会を取り巻く環境は大きく変化しており、公民館には地域における生涯学習拠点としてのみならず、地域で暮らす誰もが暮らしやすい街を作るための地域共生社会の実現に向けての地域拠点としての役割も求められている。

そうした中、操山公民館の開館により、全ての中学校区に公民館がそろう、本市の公民館行政が新しい段階を迎えた今、生涯学習及び地域づくり支援のための公民館のあり方、機能及び運営体制等を公共施設等総合管理計画の個別施設計画とともに総合的に検討し、持続可能な岡山型公民館システムを構築するために基本方針を策定する。

2 策定スケジュール(案)

時期	会議等	内容
5月29日	社会教育委員会議	作成概要について審議
6月1日	策定プロジェクト立ち上げ	作成開始
6月8日	市議会市民文教委員会	作成概要説明
10月頃	社会教育委員会議	審議 中階
11月上旬	社会教育委員会議	素案審議
11月議会	市議会市民文教委員会	素案説明
12月頃	パブリックコメント実施	
12月～1月	市民フォーラム等の開催	
2月上旬	社会教育委員会議	最終案審議
2月議会	市議会市民文教委員会	最終案説明
3月下旬	教育委員会	決定

3 策定プロジェクトワーキンググループメンバー 9名

- ・リーダー 公民館振興室長
- ・メンバー 生涯学習課職員（本課2名・振興室2名）
市民協働企画総務課（1名）
公民館職員（館長1名・社会教育主事2名）

※生涯学習課、公民館振興室、各地区の公民館及び市民協働企画総務課職員からワーキンググループメンバーを編成

4 検討内容(案)

HP-14.

- ・これまでの公民館に関する答申や報告の検証と評価
- ・公民館を取り巻く環境の変化と課題
- ・公民館の現状と課題
- ・持続可能な岡山型公民館システムの構築に向けての取組方針等

岡山市立図書館整備実施計画の見直しについて

1 経緯と目的

本市では、図書館サービスが市域全体に行き届くよう、平成9年に「岡山市立図書館整備実施計画」（以下、「整備実施計画」という。）を策定、平成14年には「整備実施計画」を改訂し、建設目標年度及び情報化について必要な見直しを行った。

その後、平成26年に「岡山市立図書館の在り方について」を策定し、最優先の取組として「開館日増」や「公民館でのインターネット予約図書受取」を実施するなど、ソフト面での図書館サービスの充実に努めてきた。

一方、今後予想される人口減少や施設維持費用の増加に対応するため、公共施設全体の適正配置等を方針として、平成29年に「岡山市公共施設等総合管理計画」が策定され、「整備実施計画」との整合が求められているところである。

こうした社会状況の変化を踏まえた上で、今後の図書館整備の展望と可能性を示すため、「整備実施計画」の見直しを行おうとするものである。

2 策定スケジュール（案）

時 期	会 議 等	内 容
5月29日	社会教育委員会議	作成概要についての審議
6月頃	策定プロジェクト立ち上げ	作成開始
6月議会（6月8日）	市民文教委員会	作成概要説明
11月上旬	社会教育委員会議	素案審議
11月議会	市民文教委員会	素案説明
12月頃	パブリックコメント実施	
2月上旬	社会教育委員会議	最終案審議
2月議会	市民文教委員会	最終案説明
3月中下旬	教育委員会	決定

3 プロジェクトチーム ワーキンググループメンバー 7名

- ・リーダー 中央図書館1名
- ・メンバー 教育企画総務課1名 生涯学習課1名 中央図書館3名 公民館1名

4 検討内容（案）

- 平成14年策定の実施計画後の状況変化の整理
- 複合化・多機能化による図書館整備の可能性
- 先行取得している用地について
- 個別施設計画策定
- 持続可能な図書館運営に向けた取り組み及び職員のあり方について

?

地域の教育力の向上について

1 第1回岡山市社会教育委員会議での決定事項 (前回30月)

○提言に向けての今後の流れ

- ①岡山市の問題点を調査する
- ②仮説をつくる
- ③アンケートを実施する
- ④提言をまとめる

○ワーキンググループで原案を作成し、委員会に諮る

○ワーキンググループの委員

熊谷委員、守安委員、久世委員、片山委員、岡委員、二階堂委員

2 今後のワーキンググループのスケジュール (案)

6月～7月 第1回ワーキンググループ：問題点の把握、共有

8月～9月 第2回ワーキンググループ：問題点の調査対象・方法の検討

10月 社会教育委員会議

実態調査

第3回ワーキンググループ：アンケート対象、項目の検討

社会教育委員会議

アンケート実施・まとめ

第4回ワーキンググループ：提言案の検討

社会教育委員会議

提言